

# 事務事業評価(事前評価)シート【平成30年度】

<b>主管課(担当名)</b>	水産振興課(水産指導担当)	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	沿岸漁業振興対策事業(ホタテ資源増大)	<b>事業番号</b>	12719

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	5-2	沿岸漁業の振興
	<b>施策目標</b>	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	ロシア水域におけるサケ・マス流し網漁業が、平成28年1月から禁止されたことから、影響を受ける地域の漁業従事者等の雇用の創出や漁業生産の維持増大を目指し、新たに造成された漁場にホタテガイ種苗を放流し、成長や生残率を調査する。
<b>成果</b>	沿岸漁業の振興を図るため、安定的なホタテガイ生産体制を構築する。
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	28							
	29							
	30							
	31							
	32							
32								
事業費と内訳	(単位:千円)		H28	H29	H30	H31	H32	総事業費
	事業費				82,600	82,600		165,200
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			82,600	82,600		165,200
		一般財源						
	人員(人工)				0.17	0.17		0.34
職員費(人員×7,679千円)				1,308	1,308		2,617	
総事業費				83,908	83,908		167,817	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	根室沖新ほたて漁場 ホタテガイ生産量	0t	5,672t	5,672t

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ホタテガイ生産の増大、新規雇用の確保、加工原料の確保
-------------------	----------------------------

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 沿岸漁業は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 北洋サケ・マス漁業の禁漁を受けた対策の一環として実施するもので、市が実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 北洋サケ・マス漁業対策であり緊急性がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段がなく妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 受益者の配分比率などについて共同漁業権管理委員会等で協議しており、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本事業の有効性がある。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【速やかに実施】</b> ロシア200海里サケ・マス流し網対策として緊急性が高く、速やかに事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかかつ円滑な事業推進を図りたい。

作成年月

平成30年6月

# 事務事業評価(事前評価)シート【平成30年度】

主管課(担当名)	水産振興課(水産指導担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	ベニザケ養殖技術開発事業	事業番号	12711

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

## 2 事務事業の目的

目的	ロシア水域におけるサケ・マス流し網漁業が、平成28年1月から禁止されたことから、影響を受ける地域の漁業従事者等の雇用の創出や漁業生産の維持増大を目指し、ベニザケ養殖技術の確立を目指すため、養殖技術開発試験を実施する。
成果	沿岸漁業の振興を図るため、ベニザケ養殖技術開発を実施し、ベニザケ養殖の実現を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	28							
	29							
	30	ベニザケ稚魚の育成試験、ベニザケ養殖適地の選定						
	31	ベニザケ稚魚の育成試験、ベニザケ養殖適地の選定						
	32	ベニザケ稚魚の育成試験、ベニザケ海面養殖試験						
事業費と内訳	(単位:千円)	H28	H29	H30	H31	H32	総事業費	
	事業費			1,000	5,000	2,000	8,000	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			1,000	5,000	2,000	8,000
		一般財源						
	人員(人工)			0.83	0.83	0.83	2.49	
職員費(人員×7,679千円)			6,388	6,388	6,388	19,163		
総事業費			7,388	11,388	8,388	27,163		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	ベニザケ養殖尾数	0尾	1,000尾	1,000尾

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ベニザケ養殖漁業の新規確立、新規雇用の確保、加工原料の確保
-------------------	-------------------------------

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 沿岸漁業は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 北洋サケ・マス漁業の禁漁を受けた対策の一環として実施するもので、市が実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 北洋サケ・マス漁業禁止対策であり緊急性がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段がなく妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各漁業協同組合の負担割合等について、ベニザケ養殖協議会で協議しており、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本事業の有効性がある。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【速やかに実施】</b> ロシア200海里サケ・マス流し網対策として緊急性が高く、速やかに事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかかつ円滑な事業推進を図りたい。

作成年月 平成30年6月